

2014年度京都造形芸術大学蒼山会総会挨拶

2014年6月21日（土曜日）

京都造形芸術大学学長 尾池和夫

蒼山会の皆さま、おはようございます。蒼山会の総会で、今日は新年度の役員を選任していただき、事業計画や予算を決めていただくことなど、重要なお仕事をお願いするのですが、それに先立ち、一言ご挨拶申し上げます。

この蒼山会は、京都造形芸術大学の在学生の保護者の皆さまと、本学の教職員が協力しながら、在学生の学生生活が充実したものとなるよう、支援事業を行うことを目的としています。そのためにも、この総会の機会やさまざまな行事の機会に、保護者の皆さまの相互の親睦をはかることが企画されております。

京都造形芸術大学の通学部には、現在 3240 名の学生が在籍しております。毎年、これらの学生の活動を支援するために、奨学事業、課外活動への補助、就職活動への援助などを蒼山会の事業として行っていただき、多大の成果をおさめています。今日の総会では、その活動内容を具体的に、昨年度の報告の中でも、ご理解いただけることと思います。

とくに今、本学では国際交流にさらに力を入れたいと考えております。日本人学生が海外留学を体験し、また、本学の中で海外からの留学生との積極的な交流を進めるためにも、蒼山会のご協力をいただいております、やはり大きく成果をあげています。

蒼山会の会員の皆さまには、本学の学生たちや、卒業生たちの、さまざまな活動を折に触れて見ていただきたいと思います。本学のキャンパスの中でも多くの行事が展開されています。例えば、今、人間館の1階では、「ここで日本画を学びました」という方たちの作品展が行われています。同時に、卒業生の立野陽子さんの個展と、田中愛子さんの個展が開催されています。ぜひお立ち寄りください。

1 回生たちは、最初の半年、全員が班に分かれて、ねぶたを制作するという大事業に取り組んでおり、9 月には、一斉にねぶたの点灯式を行います。学生代議員が中心となって学園祭も企画されています。3 月には卒業制作展がこのキャンパスいっぱいに展開されます。それらもぜひご覧いただきたく存じます。

さまざまな行事や学生生活の様子を知っていただくためには、ウェブサイトの情報もあり、広報誌「瓜生通信」もあり、大学に関連する記事を集めて「News Clip」も発行します。春秋座で開催される公演にも注目していただきたいと思います。

新年度の事業計画をご審議いただくとともに、ぜひ皆さまの積極的な行事へのご参加を、あらためてお願いして、私のご挨拶といたします。

ありがとうございました。